

道路・河川

提案・意見

伊勢南北幹線道路について（回答:5月20日時点）

いつも伊勢市のホームページを見て勉強させてもらっております。
伊勢南北幹線道路を23号線を降りて中島の交差点で合流するところですが右折レーンが短い為朝夕は非常に渋滞します。
なにか改善策を考えていただけませんか。
それと伊勢市駅方面から来て伊勢南北幹線道路に入る右折レーンも短く直進車の邪魔になることが増えてきています。
こちらは中央分離帯部分を右折レーンに切替できると思いますが検討いただけませんか。
さらに近い将来に高向小俣線が開通すると小俣町と行き来する車両が増え、宮川橋が撤去される予定もあり中島交差点周辺はかなりの渋滞箇所になると予想されますが検討はされていますか。
上記3点の見解と計画など教えてください。
よろしくお願いします。

回答

ご要望いただいた伊勢南北幹線道路については、道路管理者である三重県伊勢建設事務所事業推進室道路一課に申し伝えたところ、
「県道伊勢松阪線（伊勢南北幹線道路）の中島交差点は、中島北交差点と連続することから、朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生しています。まずは、警察と協議を進めながら、渋滞の緩和に向けた対応方針を検討してまいります。県道鳥羽松阪線から県道伊勢松阪線（伊勢南北幹線道路）に向かう中島交差点の右折レーンについては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。」
との回答がありました。【監理課】

伊勢市では、新しい宮川橋（高向小俣線）が建設され、道路が供用開始しますと、現在の宮川橋は撤去を予定しております。
撤去後、交通の流れが変わることは十分想定されることから、供用開始が近づいてまいりましたら、事前に交通の流れ及び交通量を調査し、安全かつ円滑な交通の確保に向け、対策を検討してまいりたいと考えておりますのでご理解賜りますようお願いいたします。【基盤整備課】

担当課

監理課、基盤整備課（2022年5月回答）〔5/16～5/20〕

上下水道

提案・意見

伊勢市の下水道計画の見直しについて

(回答:5月18日時点)

- 伊勢市の下水道計画は市内の勢田川の水質浄化が主な目的だったと思います。(勢田川の水質は今なお宮川と比べ、劣悪です)
- 今計画を進めている上地町は、排水が主に汁谷川を通じて宮川へと排水されています。(①汁谷川から宮川への排水の水質は不明だが、データがあるなら示してほしい)
- 流域下水道の下水処理場では水産資源の保持(海域への栄養分の不足)として計画放流(下水の浄化を実施せずに放流?)をしている。(②放流水質の基準は何処で判断していますか)
- ③市民に多額の負担金を強要して宮川(上流部は日本一綺麗な水域)への水質浄化としている一方、海域の栄養分の供給として計画放流(勢田川・五十鈴川の下流域へ)するのは無駄の悪循環の連鎖となりませんか。
- ④勢田川の水質浄化をより高度に進める方が、合理的ではありませんか。
- ⑤市民の税金が無駄に使われているのではありませんか。合理的な数値にて説明ください。

回答

- ①汁谷川の水質については宮川合流手前で年4回調査しています。
調査内容は水温、pH、BOD等で令和3年度のBODの測定値は以下のとおりとなっています。
1回目 2.3mg/L、2回目 2.9mg/L、3回目 0.9mg/L、4回目 1.3mg/L
なお、BOD(生物化学的酸素要求量)とは、河川水の汚れを表す代表的な指標で水中の汚濁物質を微生物が分解するときに消費される酸素の量となります。値が大きいほど汚れていることを示すものであり、一般的に、溪流等の清水域に生息するイワナやヤマメなどは2mg/L以下、比較的汚濁に強いコイやフナなどでは5mg/L以下が必要とされています。【環境課】
- ②三重県中南勢流域下水道事務所からの回答となります。
三重県では、北勢、中勢及び宮川の3つの流域下水道を設置し、家庭などから発生する汚水の処理を行っています。処理された水の放流にあたっては、水質汚濁防止法や下水道法など国の定める放流水質基準に基づき、流域別に放流水質基準を設定し、伊勢湾や河川への放流口で水質を監視しています。【三重県】
- ③三重県中南勢流域下水道事務所からの回答となります。
県では、きれいで豊かな海を求める声があるなか、公共用水域の水質汚濁防止法に努めながら、平成30年度から国の定める放流水質基準内で栄養塩類(窒素、りん)の濃度を安定して上昇させる運転管理方法の調査を行っています。【三重県】
- ④事業を実施する区域の選定については、勢田川水質の改善を進めるほかにもそれぞれの区域の人口密度、将来の人口動向、整備に要する費用、幹線管きよの整備状況などを考慮し、整備する区域を決定しています。【下水道建設課】
- ⑤一般会計から下水道事業会計への繰出金は、総務省の繰出基準等に基づき、予算編成や財政計画策定の際に財政課と協議を行い決定しています。令和4年度当初予算は汚水・雨水事業合わせて19億8千万円、令和5年度から令和8年度までは毎年20億5千万円の繰出しを行う計画となっています。【上下水道総務課】

担当課

環境課、下水道建設課、上下水道総務課

(2022年5月回答) [5/16~5/20]

まちづくり

提案・意見

伊勢市駅前B地区と花火大会 （回答:5月16日時点）

伊勢市駅前のB地区・C地区の経済効果と周辺の再開発は、どれくらいの経済効果が見込めるのですか

伊勢神宮奉納花大会が、何故中止なのですか、他の地域ではの花火大会は軒並み開催されますし、大型連休中も各地で、大勢の観客が入って花火大会？のような物を実施していました。神宮奉納花火の中止はおかしいのではないですか？中止の判断時期も早すぎるとおもいます。

回答

ご質問にありました伊勢市駅前地区では、A地区、B地区、C地区と3つの再開発事業が行われております。

広域からの誘客を目的としたA地区には、平成28年にホテルが開業し、コロナ禍となる前には多くの観光客が訪れていました。

また、B地区には市民サービスの向上を目的とした複合施設の整備が進んでおり、C地区には共同住宅が整備される予定です。

この3つの地区を一体的に整備することで、コロナ収束後において、周辺店舗の売上や地価の上昇が見込めると考えております。【都市計画課】

今年度の伊勢神宮奉納全国花火大会を中止とした理由については、感染状況が不透明であり収束の見通しが立たない状況であること、会場内や会場周辺だけでなく、周辺道路や主要駅、また公共交通機関などの会場外においても、密集が想定され、特に当花火大会においては、無料観覧席における感染症対策が困難であることが挙げられ、これらのことを踏まえ総合的に判断し中止を決定いたしました。

また、当花火大会は、全国から多くの花火師が参加する競技大会であり、開催まで半年から数か月程度の準備期間を要することから、判断が遅くなると準備面や費用面などに影響が出るため、4月下旬に判断をいたしました。

多くの皆様が楽しみにしていただいている中で、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

【観光振興課】

担当課

都市計画課、観光振興課

（2022年5月回答）〔5/16～5/20〕

その他

提案・意見

電気は天気のように大事（回答:5月18日時点）

ロシアがウクライナへ戦争侵攻で世界はロシアに対し、戦費疲弊を理由に原油とLNGの輸入禁止により日本の火力発電所燃料価格の高騰に事業撤退や倒産があると聞きます。

そもそも2000(平12)3月に高圧電力小売自由化し家庭電力は2016(平28)4月1日に電力小売自由化が法制化された。

電力小売自由化により自治体は入札により安い電力に乗り換え地元の電力会社は避けられていたが、ここに来て電力の入札不調が続いている。

電力供給業者が倒産すると次の契約先が見つかる迄は大手の送配電会社が責任を持ち「最終保障供給」という名のもとに急場は凌げるそうで、次の契約先を探さないといけない。

(質問)(意見)つまり地元の大手電力会社より安い新電力に乗り換えて大手電力会社は嫌な思いをして来たので再契約にて大手電力会社に戻ると契約拒否される。しっぺ返しをされ、めぐりめぐって高い電力を市税で買う事になりませんか。

質問1) 伊勢市において本庁舎は電力をどこから調達していますか。

質問2) 年間何Kwですか。

質問3) 伊勢市の病院や他の施も入札不調で同様の事が起こっていますか。

(質問)(要望)大手電力会社から嫌みづらみが価格に上乗せされ市民の税金が余分に負担する事になりませんか 大手電力会社を大事にして下さい。

回答

質問1) 本庁舎は、現在は中部電力ミライズ株式会社との需給契約により電力を調達しています。

質問2) 年間929,403KWH（令和3年度実績）です。

質問3) 下水道施設において入札不調が起こっています。

担当課

資産経営課（2022年5月回答）〔5/16～5/20〕